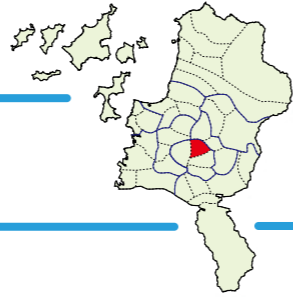


しののめ
東雲地区

人口:8,852人(高齢化率27.7%)
世帯数:5,163世帯

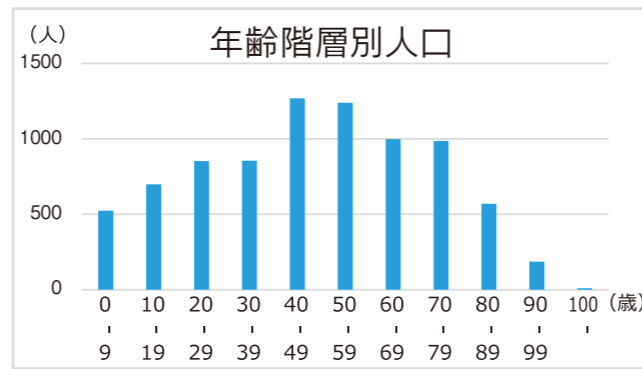


【地区の特色】

市の中心部に位置し、交通の便も良く、松山城を間近にみる文教商業地域であり、県知事公舎、裁判所長公舎、中予地方局、警察署等ビル群に囲まれている。また、教育機関も幼稚園・保育園・小・中・高・専門学校・大学とその数は14に及び、文教地区として発展している。



御幸寺山から見た東雲地区



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> ・市の中心部に位置し、バス・路面電車が走るなど交通の便が良い ・松山城、秋山兄弟生誕地、明教館など、観光、文化施設が多い ・中予地方局、松山東警察署、愛媛県総合福祉会館など、行政・福祉機関が多い ・一時減少傾向にあった人口が、マンション建設などで最近増加傾向にある ・幼稚園・保育園・小・中・高・専門学校・大学があり、教育環境に恵まれている ・日赤松山病院をはじめ、医療機関が多い ・子どもたちや高齢者の見守り活動が盛んである 	<ul style="list-style-type: none"> ・高層マンションの増加により、町内会未加入世帯が増加している ・高層マンションの増加により、景観が悪い ・新しい住民とのコミュニケーションが図りにくい ・学生の多い賃貸マンションのゴミ出しルールが守られていない ・スーパーマーケットが少なく、買い物が不便である ・交通量の増加により、交通事故の危険度が高い ・昔のままの道路が多く、道幅が狭く危険である 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯が増加しているため、見守り・情報共有などが困難である ・マンション世帯の増加等により、新しい住民とのコミュニケーションがとりにくい ・スーパーマーケットが少なく、日常の買い物が不便である ・道路幅が狭いため、見通しが悪い ・緊急車両が入れないなど危険である ・地域福祉を支える側の人材が不足している

東雲地区社会福祉協議会 支えあう力で、明るく、元気な地域づくり

<拠点> 松山市勝山町2丁目11-5 東雲公民館

構成団体	地区民協・町内会連合会・共同募金会・公民館・交通安全協会・婦人会 高齢クラブ連合会・更生保護女性会・子ども会育成連合会
主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年2回、3,500部を作成し、地域の福祉に関する情報を発信するほか、2ヶ月に1回程度「東雲公民館だよりに」地区社協のスペースをもらい『しののめ福の輪だよりに』としても情報の発信を行っています。
小・中学生との交流	小・中学校で行われる地域福祉の学習や学校行事の事前・事後学習等の時に、その内容に合わせて地域の福祉関係者等が、活動内容や体験を話したり、児童生徒と話をするなどして交流を深めています。
いきいき健康体操教室	地域住民誰でも参加できるように、講師と一緒に、ゆつくり体を動かしながら、普段使っていない筋肉や関節のストレッチをしています。公民館と地区社協が共同で開催しています。

しののめ福の輪会(中学生と地域住民の交流会)

東中学校での総合的な学習の時間に、「地域福祉」を選択して講義等で学んでいる生徒と、地域住民との交流会です。地域からは、地区社協、民児協、公民館および各サロンの代表者が参加し、地域での活動の実態を理解してもらえるように協力しています。
※「しののめ福の輪会」とは、幸福の『福』、福祉の『福』を東雲地区のなかで、繋ぎ、広げていこう!との思いが込められた愛称です。



<地区社協が目指すもの>

東雲地区は、多くの史跡、文化財に恵まれた市の中心部に位置し、交通の便も良く、地域周辺にはコンビニをはじめ病院や保健福祉施設、警察署等の立地など住環境に恵まれる中、高層マンション建設等により新たな住民の流入に加え、少子高齢化の進展が著しくなっています。
今後は住民同士の繋がりやふれあいを高め、「地域はひとつ」の絆を高めるため、民児協、町内会等各団体の協力・支援等により各種事業を展開し、子どもから高齢者まで明るく、いきいき生活できる地域づくりを目指します。

地区の状況	■地区民協		■町内会・自治会・区長会等	
	民生委員	23名		38団体
主任児童委員	2名		■高齢クラブ	5クラブ
			■子ども会	5団体
■まち協の設立	—		■自主防災組織	30組織

観光資源や医療・教育などの社会資源に恵まれた地区です。活動の一つには、しののめ福の輪会があり地域住民と中学生の交流会を通して、さらなる住民間のつながり強化が行われています。また、高層マンションの増加による新しい住民の流入が進む中、健康体操教室などの企画は地区になじみのない方でも参加しやすく、今後の地域福祉活動メニューを考える上で、今後の新たな活動展開が期待できます。

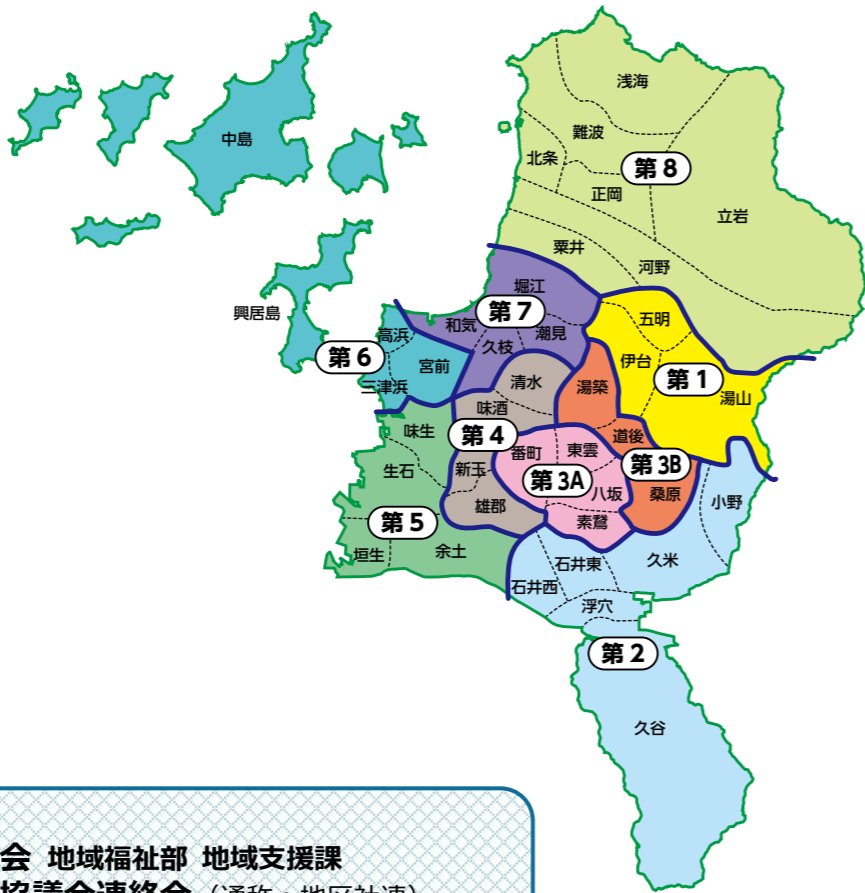


地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	潮見地区	第8	正岡地区
	浮穴地区		久枝地区		北条地区
	小野地区		和気地区		河野地区
	石井東地区		堀江地区		粟井地区
	石井西地区				
久谷地区					
第3 A	番町地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	八坂地区		新玉地区		新玉地区
	東雲地区		清水地区		清水地区
	素鷲地区		味酒地区		味酒地区
第3 B	道後地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	湯築地区		新玉地区		新玉地区
	桑原地区		清水地区		清水地区
第4	雄郡地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
	新玉地区		新玉地区		新玉地区
	清水地区		清水地区		清水地区
第5	余土地地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
	垣生地区		新玉地区		新玉地区
	生石地区		清水地区		清水地区
第5	味生地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
	味生地区		新玉地区		新玉地区



発行日 令和6年4月
発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）
 〒790-0808 松山市若草町8番地2
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>
作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

五明地区 人口:426人(高齢化率48.8%) 世帯数:225世帯

【地区の概要】
 五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高300mの中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩土壌と豊富な湿度がある立地条件を生かし、古くから心とう栽培に誇りを持っている。また、五明太郎などの「五明太郎」が自然発生の「五明川が流れており、清流に憩っている。」

①地区の概要

②地域住民からみた地域の状況

【地域住民からみた地域の状況】
 高齢者が多く、この歳が定年できる。- 家庭内の事情がある程度わかっている
 一人で生活して中々、物を取り合っている。- 移動サービスが来る
 車での通勤 - 通学時間は遅くも20-30分で市内中心部へ行く
 自然が豊かで季節を感じることができる。- 食べ物の心配(コンド)が抱えている
 自主防災と連携し、災害時の避難の仕組みを作っている。- 集合タクシーが利用できる
 まちがで、地域団体との連携が取れている。- 集合タクシーが利用できる
 田舎暮らしなど地域の子どもの交流

③地区社協の概要と取り組み

【地区社協の概要と取り組み】
 五明地区社協は、公民協をはじめとする地区内の団体と連携し、自主防災訓練、奉仕活動、まちづくり、健康づくり、高齢者支援、しめつけ、もちつき、ふるさとまつりなどの地域行事と連携した地域活動の推進を基本方針としています。
 今後の目標としては、五明地区まちづくり協議会との連携をさらに深め、日常生活の困りごとを地域住民同士で支えあっているよう地域福祉活動の推進を目標としています。

④地区内関係団体データ

【地区内関係団体データ】
 五明地区には、公民協をはじめとする地区内の団体と連携し、自主防災訓練、奉仕活動、まちづくり、健康づくり、高齢者支援、しめつけ、もちつき、ふるさとまつりなどの地域行事と連携した地域活動の推進を基本方針としています。
 今後の目標としては、五明地区まちづくり協議会との連携をさらに深め、日常生活の困りごとを地域住民同士で支えあっているよう地域福祉活動の推進を目標としています。

⑤地域福祉推進のポイント

【地域福祉推進のポイント】
 五明地区には、公民協をはじめとする地区内の団体と連携し、自主防災訓練、奉仕活動、まちづくり、健康づくり、高齢者支援、しめつけ、もちつき、ふるさとまつりなどの地域行事と連携した地域活動の推進を基本方針としています。
 今後の目標としては、五明地区まちづくり協議会との連携をさらに深め、日常生活の困りごとを地域住民同士で支えあっているよう地域福祉活動の推進を目標としています。

- ①地区の概要**
 - 人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
 - 地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。
- ②地域住民からみた地域の状況**
 - 研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。
- ③地区社協の概要と取り組み**
 - 令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。
- ④地区内関係団体データ**

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査（基準日：令和5年6月1日）
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数（令和5年7月1日現在）
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数（令和5年5月1日現在）
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況（令和5年4月1日現在）
- ⑤地域福祉推進のポイント**
 - 聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏